

第64期 定時株主総会

目的事項

報告事項

- 1 第64期事業報告の内容、連結計算書類の内容並びに
会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
- 2 第64期計算書類の内容報告の件

決議事項

第1号議案

剰余金の処分の件

第2号議案

監査役3名選任の件

以 上



2024年3月期

第64期 事業報告

2024年6月20日

東証スタンダード

7927

ムトー精工株式会社



国内外の経済

コロナ禍の影響脱却
半導体の供給不足解消

世界情勢の緊迫化を起因
とした原材料等の高騰

急激な円安の進行

当社を取り巻く業界

自動車関連部品では半導
体不足の影響が落ち着き
受注回復傾向

ミラーレスカメラの需要好調

コロナ特需の反動により
プリンター部品の受注減少

業績概況 (PL)



- デジタルカメラ部品や自動車関連部品の受注が増加し、売上高は増収
- 省人化・省力化を図り、経費の削減に努めたことにより増益
- 為替相場の影響で大幅な為替差益が発生

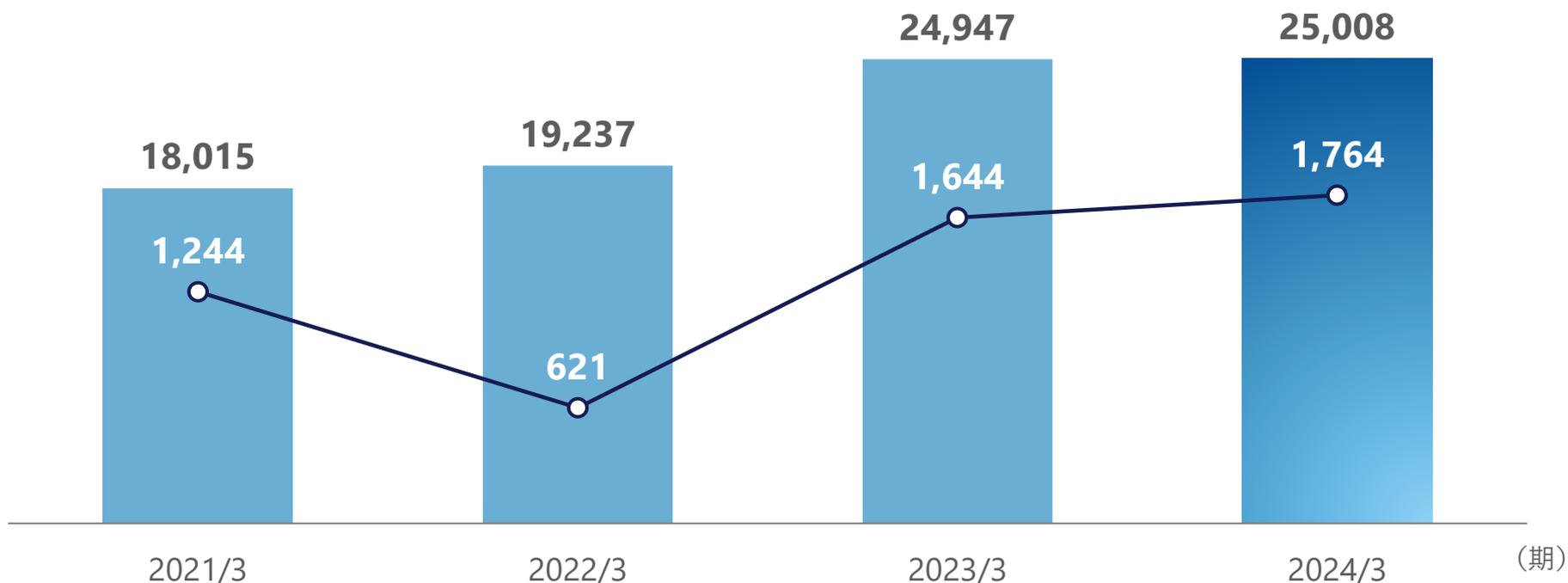
(百万円)	2023/3期		2024/3期		期比較
	実績	売上比(%)	実績	売上比(%)	前年比(%)
売上高	26,169	100.0	26,315	100.0	+0.6
売上総利益	5,014	19.2	5,282	20.1	+5.3
販管費	3,268	12.5	3,454	13.1	+5.7
営業利益	1,746	6.7	1,827	6.9	+4.6
為替差損益	285	1.1	454	1.7	+59.3
経常利益	2,140	8.2	2,433	9.3	+13.7
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,300	5.0	1,773	6.7	+36.3

- デジタルカメラ部品や自動車関連部品の受注が増加傾向にあり増収
- 省人化・省力化を図り、経費削減に努めたことにより増益

売上高と営業利益推移

■ 売上高 ○ 営業利益

単位：百万円

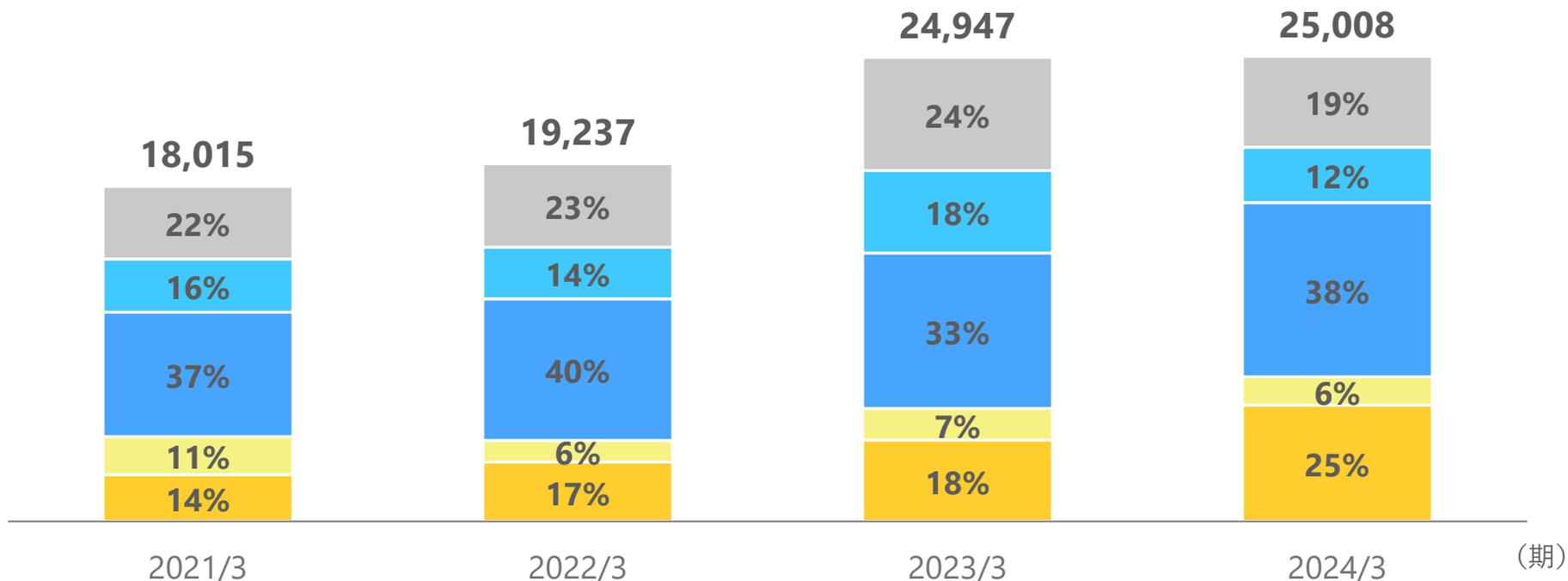


- 半導体不足の解消により、デジタルカメラ部品や自動車関連部品の受注が大幅に増加
- コロナ需要の反動でプリンター部品や電子ペン部品の受注が減少

製品構成の推移

■ デジタルカメラ ■ 電子ペン ■ 自動車関連 ■ プリンター ■ その他

単位：百万円

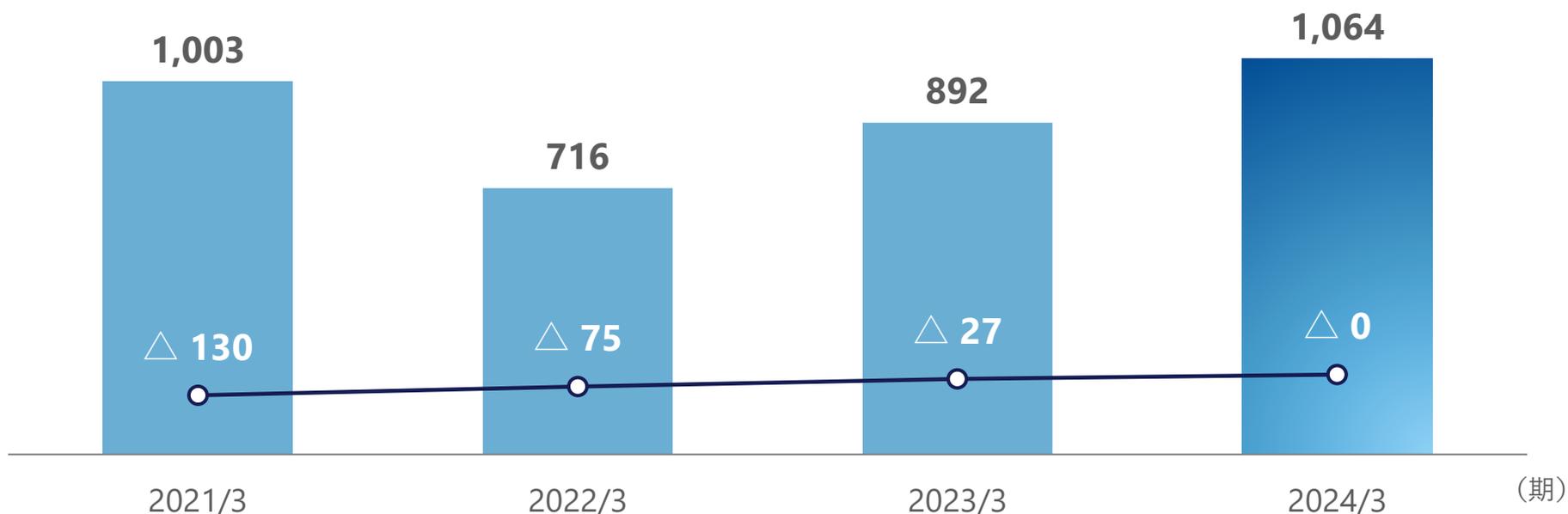


- 医療機器部品の売上高は好調
- デジタルカメラ部品は回復の兆しがあるが、売上高は依然低調に推移
- 原材料の値上がりにより続いていた付加価値の圧迫は、得意先との価格交渉がまとまり軽減

売上高と営業利益推移

■ 売上高 ○ 営業利益

単位：百万円

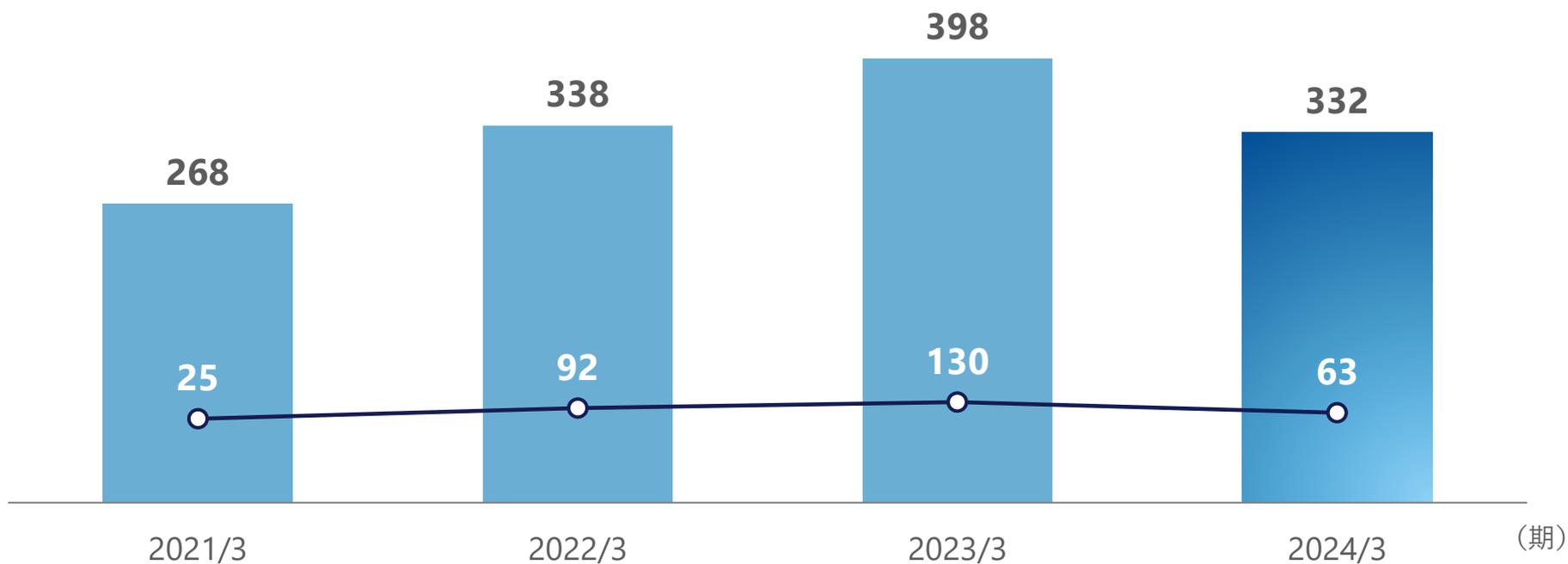


- 設計部門においては半導体基板が、検査部門においてはセラミック基板の受注が減少となり、減収減益

売上高と営業利益推移

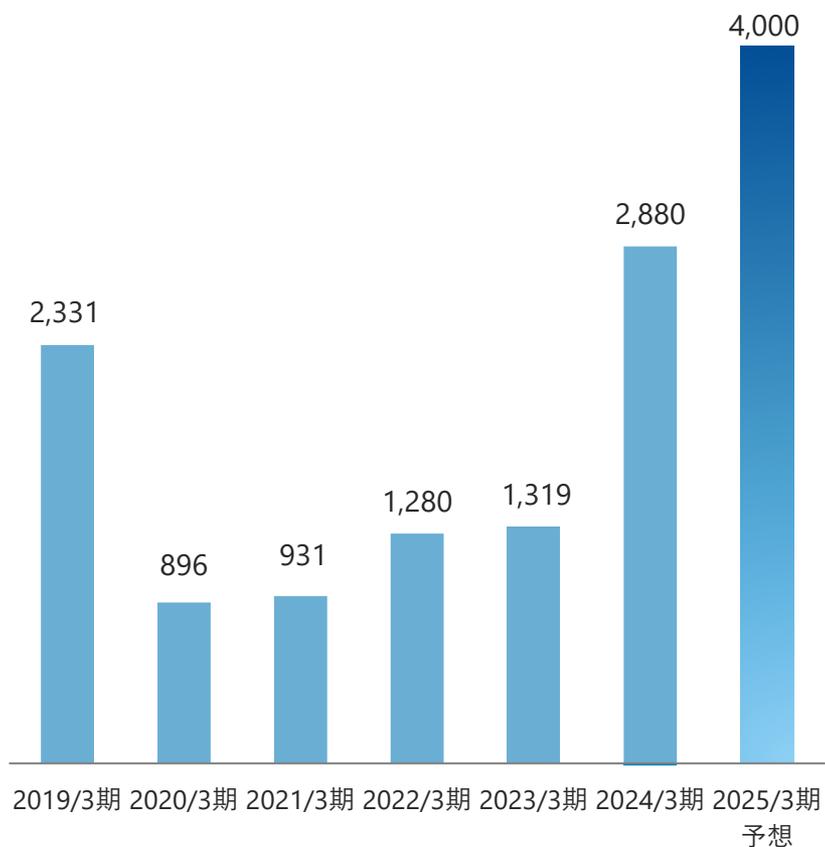
■ 売上高 ○ 営業利益

単位：百万円

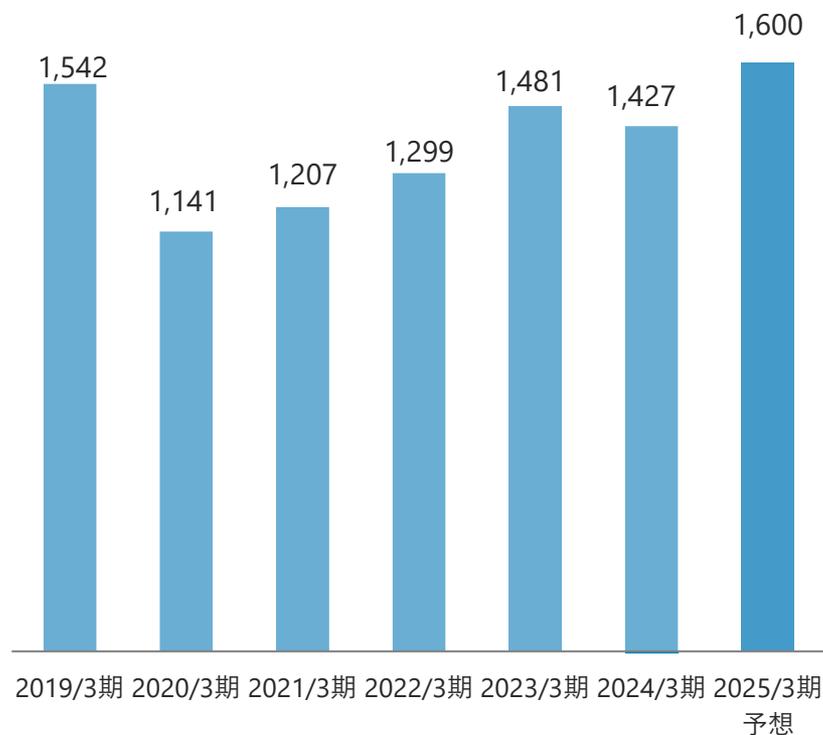


- 2024年3月期の設備投資はプラスチック成形事業の生産能力拡充を中心に28.8億円、このうち各務原新工場への投資が14.7億円
- 2025年3月期もプラスチック成形事業中心に40億円の設備投資を計画、うち各務原新工場への投資は20億円を予定

設備投資

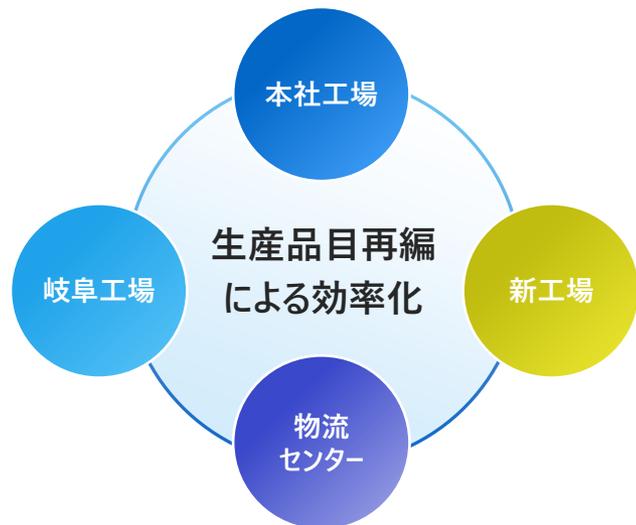


減価償却費



各務原に新工場建設

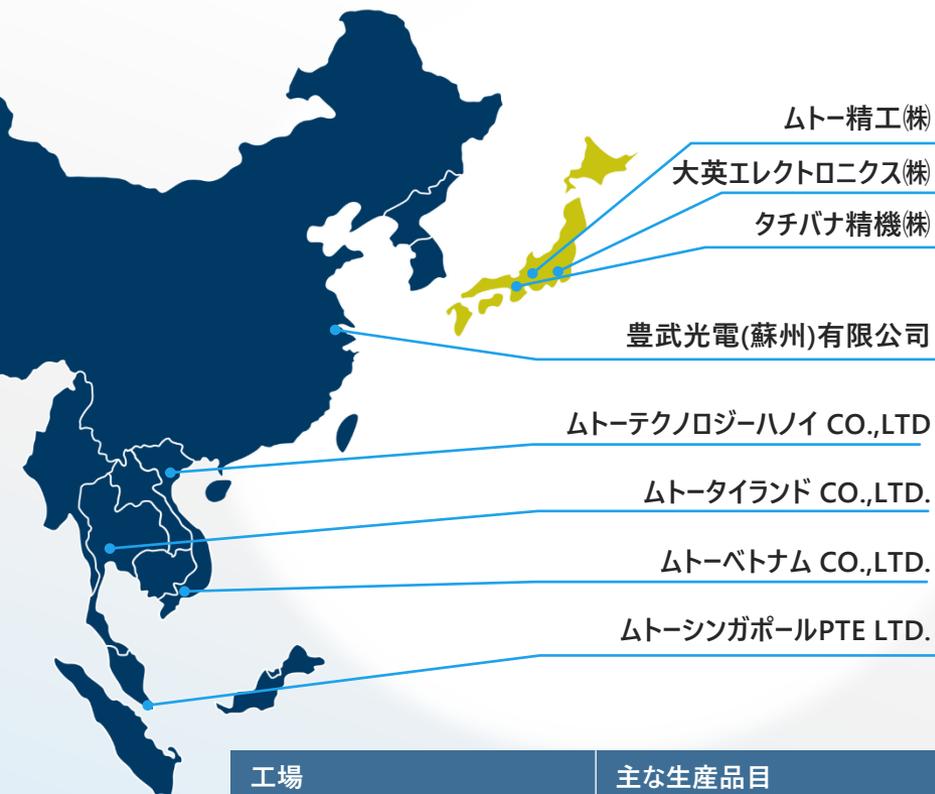
- HEV・EVなど自動車関連部品の受注増加に備えて、樹脂成形から組立まで一貫生産する新工場を建設
- 新工場は本社から直線距離で500mの工業団地内に建設、2024年度末稼働予定
- 既存の本社工場や岐阜工場も含めて生產品目を再編、物流センターも統合し、生産や物流の効率化を図る



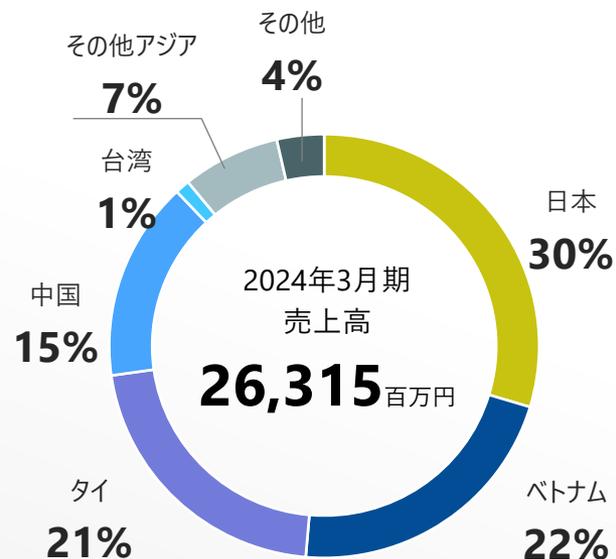
新工場の概要	主な生產品目
総投資額（概算）	35億円
着工	2024年1月
稼働	2024年度末
工場床面積	9,624㎡
事業内容	樹脂成形・組立 (第2期で二次加工も追加)
生產品目	ECUケース等の自動車用部品等



- 日系企業の工場が多い地域に製造・販売拠点
- 海外工場も金型製作設備を保有し、金型設計・製作から樹脂成形までの一貫生産



地域別売上高



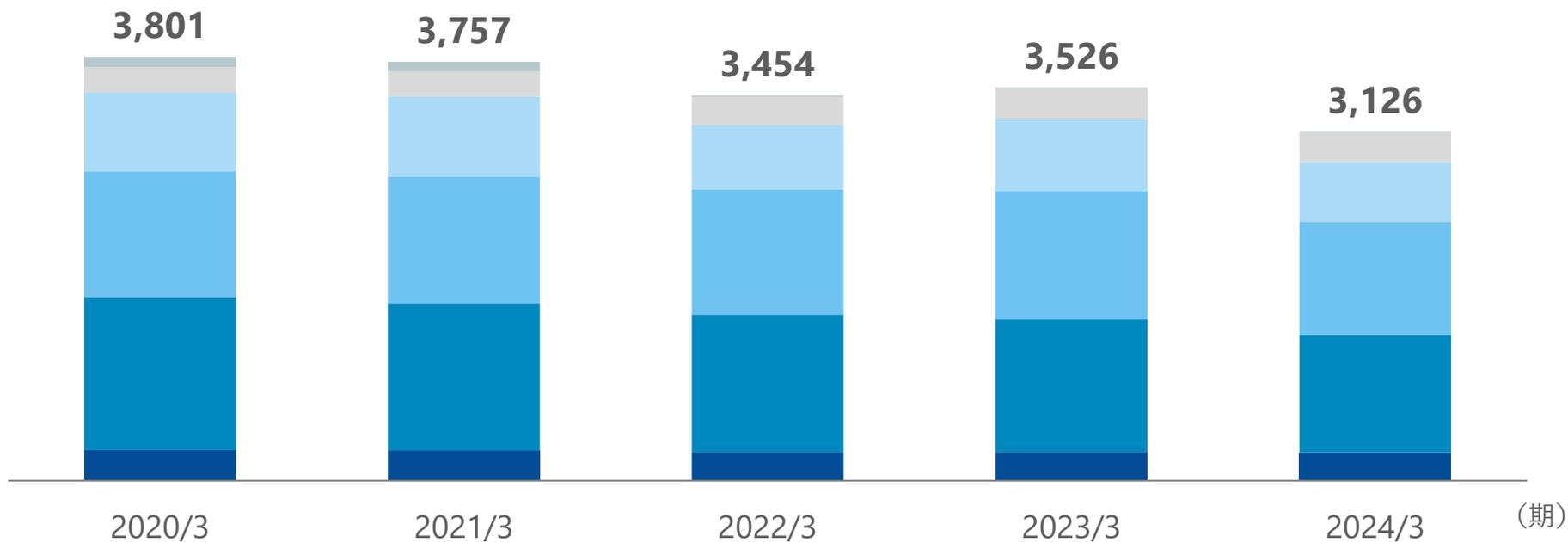
工場	主な生産品目
ムトー精工 (本社・岐阜)	車載部品
ムトーベトナム	カメラ部品、車載部品、ヘルスケア部品
ムトーテクノロジーハノイ	プリンター部品、車載部品、住宅設備関連部品
ムトータイランド	カメラ部品、車載部品、プリンター部品
豊武光電 (蘇州) 有限公司	カメラ部品、電子ペン、車載部品

主な納入先	
デンソー	東海理化
ワコム	パナソニック
ソニー	キヤノン等

連結従業員数（正社員）の推移

■ 日本 ■ ホーチミン ■ ハノイ ■ 中国 ■ タイ ■ その他

単位：人



- 自動車関連部品が堅調に推移することやプリンター部品の回復を見込むことから、売上高は2%増収を予想
- 増収により、営業利益も4%増益と引き続き増益を予想
- 為替差益の減少などから経常利益は22%減益、当期純利益も7%減益を見込む

	2024/3期実績		2025/3期予想		期比較	
	実績	売上比(%)	予想	売上比(%)	前年比(%)	売上比増(pt)
(百万円)						
売上高	26,315	100.0	26,700	100.0	+1.5	-
売上総利益	5,282	20.1	5,350	20.0	+1.3	△0.1
販管費	3,454	13.1	3,450	12.9	△0.1	△0.2
営業利益	1,827	6.9	1,900	7.1	+4.0	+0.2
為替差損益	454	1.7	0	-	-	-
経常利益	2,433	9.3	1,900	7.1	△21.9	△2.2
親会社株式に帰属する 当期純利益	1,773	6.7	1,650	6.2	△6.9	△0.5
1株当たり当期純利益	249.9円		232.5円		△7.0%	
1株当たり配当金	100.0円		93.5円		△6.5%	

数値目標

営業利益 「20億円超」を目指す

ROE 「10%以上」を維持する



1 顧客基盤の拡大

重要ファクター



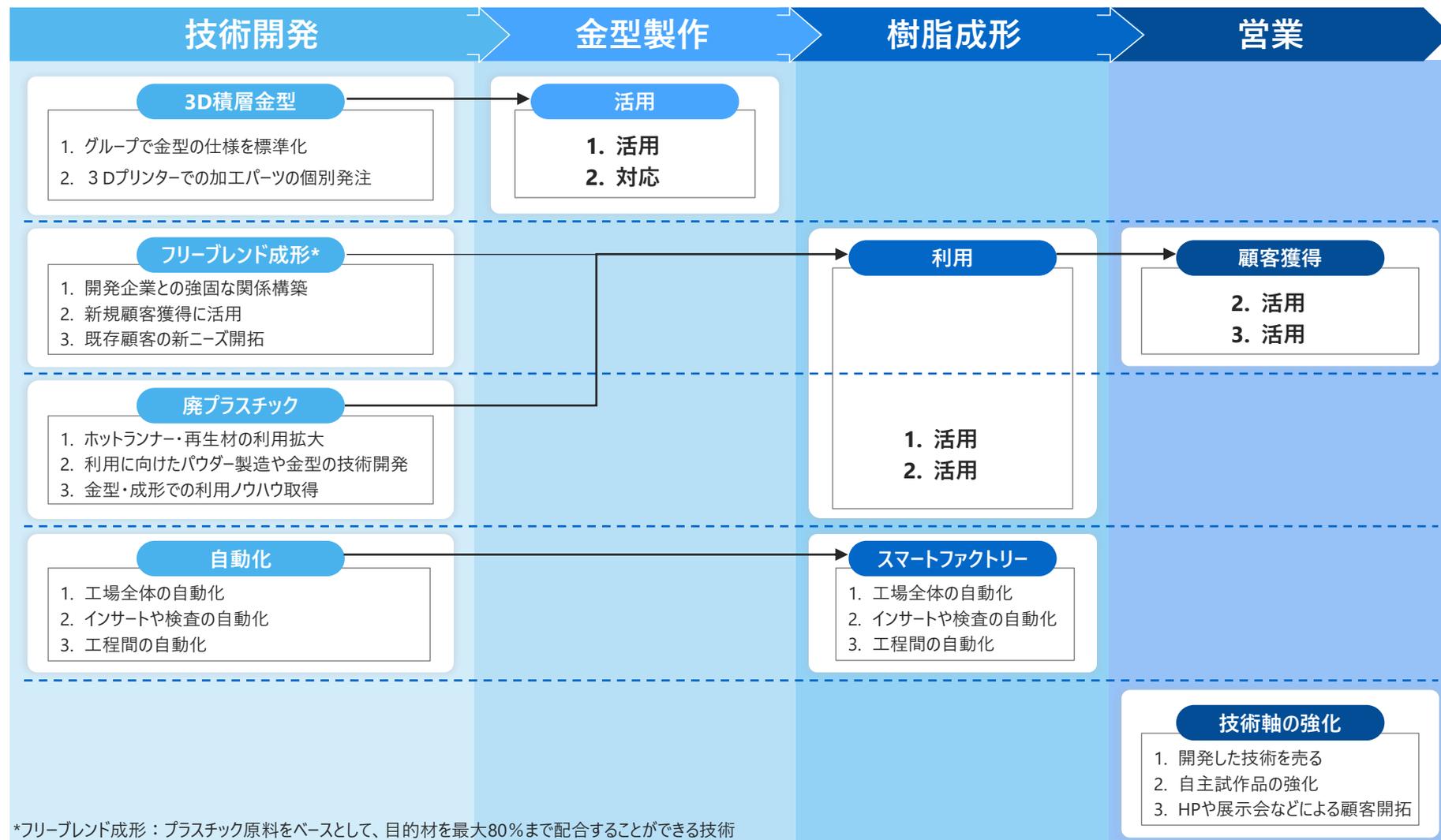
2 施策を実行するスピード



3 積極的な設備投資・人的投資

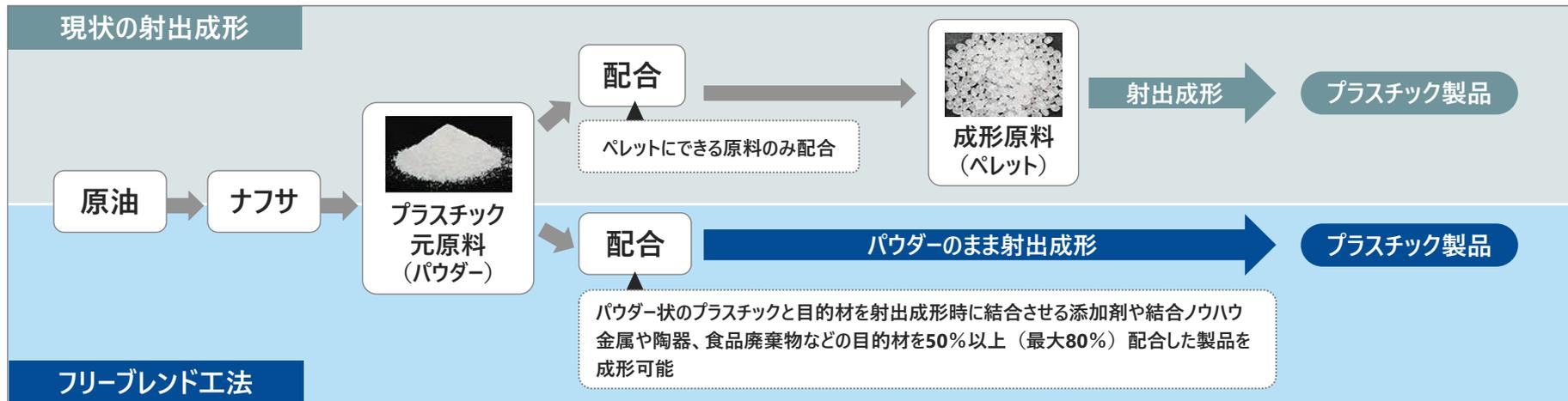
事業戦略：利益増大に向けた事業戦略

- 3Dプリンターの活用、廃プラスチック利用やフリーブレンド成形*による既存顧客のニーズ開拓と新規顧客開拓
- スマートファクトリー実現による生産性向上



*フリーブレンド成形：プラスチック原料をベースとして、目的材を最大80%まで配合することができる技術

- フリーブレンド工法の特許を持つ(株)第一精工舎と業務提携
- (株)第一精工舎から製造を受託し、新たな素材のプラスチック製品について量産を開始、工法技術の共同開発も進める
- フリーブレンド工法はプラスチックと目的物（廃棄物等）をパウダー状のまま射出成形するため、多様な材料の配合が可能



フリーブレンド成形の特徴



環境に優しい（捨てずに使う）

食品廃棄物（粃殻・牡蠣殻等）や木片・陶器・ガラスなどの廃棄物を配合したプラスチック製品を成形可能

加工とデザインの両立

鉄やチタン、陶器など加工の難しい材料を使った複雑なデザインの製品を、高い質感を維持したまま、低コストで量産可能

機能性の向上

ガラス繊維による強度向上や、銅による殺菌機能など、新たな機能を付加したプラスチック製品の量産が可能

フリーブレンド成形での両社の強み



- ・射出成形用金型の設計・製作技術
- ・大量生産できる生産能力



- ・目的材の特性に応じた添加剤や成形ノウハウ
- ・射出成形機

- 工場・バックオフィスのDX化の推進
- 工場における受発注・生産・在庫管理等を行う基幹システムのリニューアル（2026年3月期末に稼働予定）

工場

- 基幹システムのリニューアル
- 品質保証・立ち上げ業務のDX化
- 金型図面の電子化

バックオフィス

- ペーパーレス化の徹底
- 許可・承認・記録行為の電子化
- 人事・労務・経理・管理業務のDX化

全社共通

- DXに対応するPCスペック（ハイパワー・軽量・ワイヤレス）
- タブレット・スマートフォン・QRコードの利用環境整備

- コンプライアンス研修等によりコンプライアンス意識を社内に浸透させる
- 環境対応や人的資本の充実に向けた環境整備も実施

テーマ	取組内容	施策
コンプライアンス		
	啓蒙活動	
		法令遵守・ハラスメント等の研修継続
	定着	
		法令遵守・ハラスメント等の対応策の維持・継続
環境		
	カーボンニュートラルに向けた取り組み	
	ロードマップの作成とそれに基づく施策の展開	
	老朽設備の計画的な更新によるCO ₂ 削減	
	CO ₂ の継続的な測定の実施	
	SCOPE3の算定方法の確立	
	対外発表促進による当社の取り組み状況の認知	
	廃棄プラスチック削減	
	減プラスチックへの取り組み強化	
	環境団体への協力	

テーマ	取組内容	施策
人的資本の充実		
	多様性への取り組み	
	社員相互の理解を深め、多様な人材が尊重され刺激し合う社風作り	
	教育訓練	
	社員の研修制度の確立と実施	
	階層別研修、海外短期トレーニー制度の拡充	
	自己研鑽への補助制度の制定	
	ワークライフバランス	
	社会的なワークライフバランスへの要求に対して積極的に対応	
	海外グループ各社との交流	
	技術交流会の充実等	
	自前主義からの脱却	
	アウトソーシングなど外部リソースを活用し、業務のスピードアップを図る	

企業価値 最大化



品質・スピード強化

- 金型製作の品質向上により、製品設計者の評価を高め受注拡大

利益率の向上

- インサート成形など付加価値の高い製品の販売強化

在庫圧縮・工場の効率化

- 基幹システムのリニューアル
- 各務原新工場稼働に伴う生産品目再編等

配当政策

- 2023年3月期から配当性向を40%へ引き上げ
- 更なる株主還元強化も検討

IR活動を強化

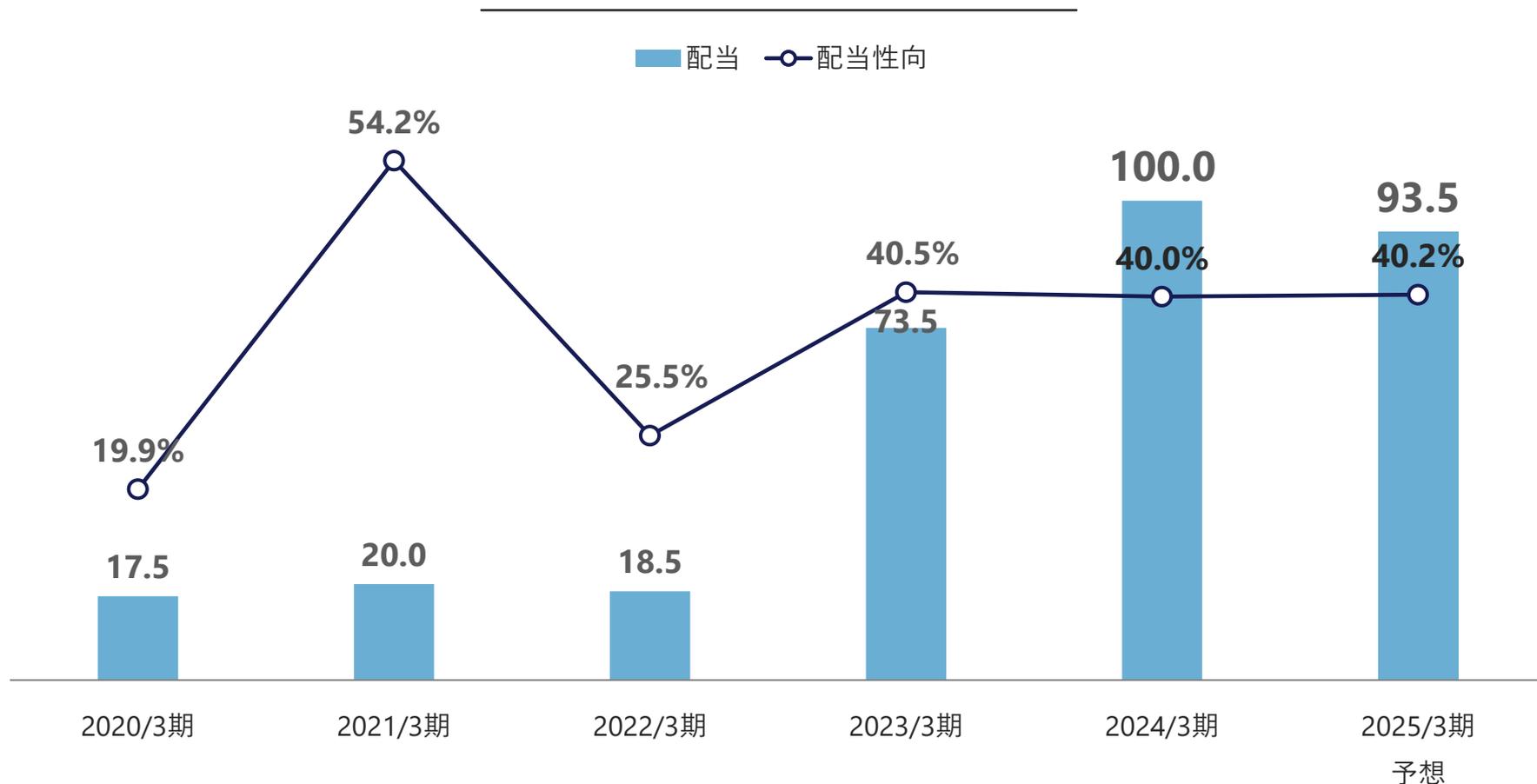
- 決算説明資料の作成や決算説明会の実施などIR活動を強化

投資家への成長戦略の浸透

- 決算説明会で中期事業戦略を説明

- 年間配当16円を安定配当とし、連結業績連動分と合わせて40%の配当性向を目標
- 2024年3月期は配当性向40%となる100.0円の配当を実施、25年3月期も配当性向40%を維持し93.5円の配当を計画

配当と配当性向



(百万円)	2023/3期	2024/3期	前期末比増減
流動資産	17,997	19,668	+1,671
(内、現預金)	8,762	10,260	+1,498
(内、受取手形及び売掛金)	5,239	5,228	△10
固定資産	7,943	9,809	+1,866
(内、有形固定資産)	7,271	8,985	+1,714
総資産	25,940	29,478	+3,538
負債	9,717	10,565	+847
(内、有利子負債)	4,862	5,248	+386
純資産	16,222	18,913	+2,690
負債純資産	25,940	29,478	+3,538

(百万円)	2023/3期	2024/3期	前期末比増減
売上高	26,169	26,315	+146
売上総利益	5,014	5,282	+267
販管費	3,268	3,454	+186
営業利益	1,746	1,827	+80
営業外損益	393	605	+212
経常利益	2,140	2,433	+293
親会社株式に帰属する 当期純利益	1,300	1,773	+472

(百万円)	2023/3期	2024/3期	前期末比増減
流動資産	4,348	4,524	+176
(内、現預金)	391	564	+173
(内、受取手形及び売掛金)	1,985	1,886	△98
固定資産	8,596	10,002	+1,405
(内、有形固定資産)	2,030	3,330	+1,299
総資産	12,944	14,527	+1,582
負債	6,210	7,195	+984
(内、有利子負債)	4,276	5,040	+764
純資産	6,734	7,331	+597
負債純資産	12,944	14,527	+1,582

(百万円)	2023/3期	2024/3期	前期末比増減
売上高	7,159	7,193	+33
売上総利益	887	869	△17
販管費	1,118	1,234	+116
営業利益	△ 230	△ 364	△133
営業外損益	1,440	1,459	+19
経常利益	1,209	1,095	△114
当期純利益	794	1,050	+255

第64期 定時株主総会

目的事項

報告事項

- 1 第64期事業報告の内容、連結計算書類の内容並びに
会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
- 2 第64期計算書類の内容報告の件

決議事項

第1号議案

剰余金の処分の件

第2号議案

監査役3名選任の件

以 上